

開催報告

第16回日本医療マネジメント学会学術総会

第16回日本医療マネジメント学会学術総会
会長 青山興司

(国立病院機構岡山医療センター名誉院長)

2014年6月13日(金)14日(土)の両日、岡山コンベンションセンター・ホテルグランヴィア岡山・岡山シティミュージアムにおいて第16回日本医療マネジメント学会学術総会を開催させて頂きました。今回の学術総会は岡山で初めての開催でしたが、会期中の参加者数は4,210名と非常に多くの方々に参加していただきました。基調講演、会長講演のほか、招待講演3題、特別講演3題、教育講演2題、その他、特別企画、シンポジウム、フリートークセッションと多彩な企画を盛り込む事ができました。

また、一般演題もたくさんの応募をいただき、演題数：1,034題(口演：682題、ポスター：325題、クリティカルパス展示：27題)を採用させていただきました。カテゴリ別では地域連携が202演題ともっとも多く、次いで197演題の医療安全、135演題の医療の質となり、さらに組織マネジメント、教育、病院運営、医療情報と、繋がりました。これらはまさに現在の日本の医療の状況をよく表していると思われました。

今回の学術総会の目的の一つに、岡山地方により良い医療マネジメントマインドを持ち込むと同時に、岡山の医療の状況を他県にも知って貰う事、がありましたので、学術総会の企画の段階から岡山県下の多くの病院に参加して頂きました。

第1日目の招待講演、作家の藤原正彦先生には‘日本のこれから’と題しての講演を頂きました。‘日本人は古くから惻隱の思想、美しい情緒など世界に誇れる素晴らしいものを持っている国民である’、この事をしっかりと認識し、誇りを持って生きて行ってほしい、という日本人として一本筋の通った素晴らしい話でした。もう一つの招待講演は、ノートルダム清心学園理事長・作家の渡辺和子先生にお願いしました。‘置かれたところで咲く’と題して話して頂きましたが、‘置かれた状況を理解し、自分にとって一番若い今、しっかりと生きる事が大切である’事をお話

し頂きました。先生の優しさと思いがりが身にしみるお話でした。

2日目の招待講演は厚生労働省事務次官の村木厚子先生にお願いしました。‘仕事と家庭を考える’と題しての講演を頂きました。今の日本の少子の現状を分かり易く解説して頂いた後、先生の実体験から、‘子育てをしながら働く事の苦勞、楽しさ’などを話して頂きました。満席の会場の70%を占めた働く女性に多くの勇気と希望を頂いた素晴らしい講演でした。

特別講演の辻 哲夫先生には、今後、高齢者時代を迎える日本の医療・福祉・介護・保健のあり方の方向性を示して頂きました。また、今回は岡山に2施設あるハンセン病施設の現状と過去への思いを、医療関係者に認知・共有してもらう事を目的として、呂久光明園の名誉園長畑野 研太郎先生と入所者自治会副会長 山本英郎氏に‘人権を守る医療を目指して—隔離から解放へ—’と題して話して頂きました。20数名の入所者を含む500名を越える聴衆の前でしっかりと思いを話して頂きましたが、両講演ともに心を打つ感動的な話でした。

教育講演としてDPCの生みの親である松田晋也先生にDPCが今後どのような形で地域医療に関与していくかを分かり易く話して頂きました。また、岡山医療センター肥田和之先生には‘なんのために論文を書くのか・論文の書き方・効果的なプレゼンテーションを目指したスライド作成法’などについて話して頂きました。常日頃からの看護師・コメディカルの方々からの強い要望に応えるために、無理を承知でお願いしたのですが、多くの聴衆を魅了する素晴らしい講演でした。

全国トップレベルの病院を代表して、亀田総合病院・亀田信介先生、四国こどもとおとなの医療センター・中川義信先生、飯塚病院・須藤 久美子先生、倉敷中央病院・相田俊夫先生に、‘楽しく働くためのトップマネジメント’と題した、シンポジウム形式の特別講演をお願いしました。3時間という長時間にわたる企画でしたが、700席を越える会場は最後まで満席で、各先生方のマネジメント手法は大いに参考になったと思います。

また、今回は合計で22題のシンポジウム・フリートークセッションを企画させて頂きました。これらは本部の企画のものが6題、岡山県下の各病院が企画したものが14題(岡山医療センター企画の6題を含む)、会長企画のものが2題でした。今回の学術総会の特徴でもある岡山県下の各病院に企画運営をお願いしたことによって、各病院の特徴が出て大変良かったと自負しています。どのシンポジウムも非常に意義深いものでしたが、洛和会ヘルスケアシステム 松村理司先生のシンポジウムは‘真の総合医の育成はどうあるべきか’であり、地方の病院の医師不足にどのように対応すべきかの一助になりました。

開会式
会長挨拶

会場風景